

411 ^{99m}Tc-HSA-D lymphoscintigraphyを用いた リンパ浮腫の術後定量評価の試み

鐘ヶ江香久子、塚本江利子、中駄邦博、望月孝史、
玉木長良（北大核）、表英彦（同放射線部）、山本有平、
杉原平樹（同形成外科）、伊藤和夫（札幌鉄道病院）

乳癌術後に高度の2次性リンパ浮腫をきたして
microlymphatico venous implantation(MLVI)が施行された女
性4例に対し、lymphoscintigraphyによるリンパ浮腫の定量
評価を試みた。

^{99m}Tc-HSA-D 37MBqを指間に皮下注射し、前腕と上腕に
24時間後に分布した量(Ascent.Index)は術後の臨床経過を
よく反映し、改善例では減少していた。それに対して術
前の24時間後の投与部位への薬剤残存(Absorption.Index)は、
亢進、低下共に認められ、局所の分布の比率(Distribution.
Index)の術後経過の評価と共に、臨床的意味に関してはさ
らなる検討を重ねる必要があると思われる。